

# しみん基金・K O B E

# NEWS

Vol.47

2019年3月号



認定 NPO 法人しみん基金・K O B E

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア 2 F) TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

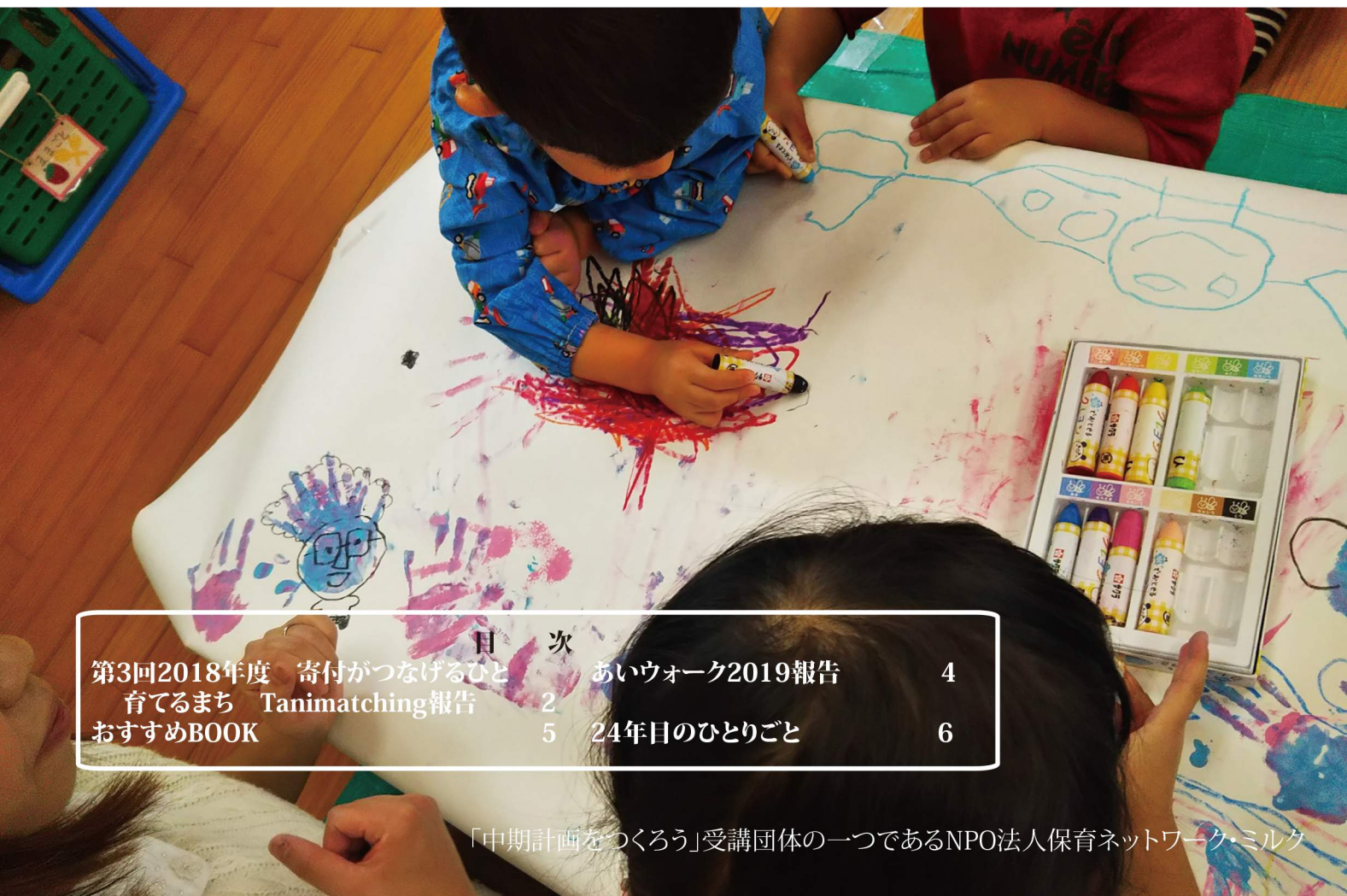
「意識の量」と「行動」の変化をメーターに

「伴走支援」という言葉を、NPO支援の現場で見聞きする機会が増えた。しみん基金・こうべの「団体個別訪問つき」「中期計画をつくろう」講座も座学と伴走支援を組み合わせたものだが、参加団体にとっては大変だ。半年間にわたり座学と団体への訪問(伴走支援)が毎月あり、加えて2年目も希望する団体にはフォローアップを行う。参加団体は人員も時間も予算も限られる中で地道に活動している草の根団体が多く、しみん基金・こうべやアドバイザーにとっても手間のかかる講座ともいえる。では、なぜ続けているのか?めざしている/得られている成果は何か?。

「NPOマネジメント論—ミッション・ビジョンと目標の重要性」の座学を皮切りに講座がスタートするが、紹介されるスライドに次の言葉がある。「意識の量を増やそう!」「個人の能力の差は5倍程度。しかし、意識の差は100倍まで広がる」「時いたものしか刈り取ることはできない。そこに近道はない」。中期計画づくりと謳いながらも単年度の計画に落ち着く場合も多い。しかし、手間をかけて地道に進められる講座だからこそ、参加団体とアドバイザーがともに繰り返し考え、議論し、行動する習慣づくりにチャレンジし、今後とも継続していかうとする確かな意識と行動の変化につながっていることを実感する。この講座を通して、「意識の量」と「行動」の変化が各団体の組織・事業運営のメーターの一つになっていったらと思う。次回の訪問が楽しみだ。

中期計画をつくろう講座アドバイザー

河合将生 (office musubime代表)



## 目次

第3回2018年度 寄付がつなげるひと	あいウォーク2019報告	4
育てるまち Tanimatching報告		2
おすすめBOOK	24年目のひとりごと	6

# 第3回2018年度 寄付がつなげるひと 育てるまち

今年度も、地域住民や企業のみならず、市民活動団体のプレゼンテーションを直に聞いていただき交流し、応援したいと思う団体に応援コインを投票して、その想いを託していただくイベントを2019年1月22日（火）に開催しました。



## プレゼンテーション団体



神戸・灘おもちゃの病院  
子ども達のおもちゃ治療(修理)を通じてドクター(シルバー世代)と子育て世代との交流を図る。



NPO法人二求の塾  
不登校や引きこもりで悩む若者の元気回復をモットーにしているフリースクール。



ほっとスペースおうご  
地域の高齢者が気軽に集える居場所をあんしんすこやかセンターとも協力しながら実施している。



特例認定NPO法人まなびと  
放課後に子ども達への学習支援、外国人への日本語支援を行っている。



森のようちえん  
そとはうち  
諏訪山神社の森を中心に、園舎を持たない森のようちえんを実施している。

- 開催概要**
- 日時…2019年1月22日(火)17時半から20時
  - 場所…神戸酒心館ホール
  - 参加人数…個人21人・22口 企業24人・19口  
/口数 プレゼン団体5団体・11人
  - 主催…しみん基金・こうべ、はんしん高齢者くらしの相談室  
コミュニケーション・サポートセンター神戸
  - 協賛…株式会社神戸酒心館 萩原珈琲株式会社
  - 協力…株式会社ロック・フィールド
  - 後援…兵庫県、神戸市、神戸市社会福祉協議会、神戸青年会議所



当日プログラムの流れ



17:35  
戒理事長の趣旨説明



17:30  
萩原珈琲(株)さんにご提供いただいたウエルカムコーヒーの香りに包まれながら参加者をお迎え。



18:20  
会場をご提供くださった神戸酒心館さんが新酒もふるまってくださり乾杯のご挨拶をいただきました。



17:40  
各団体によるプレゼンテーション



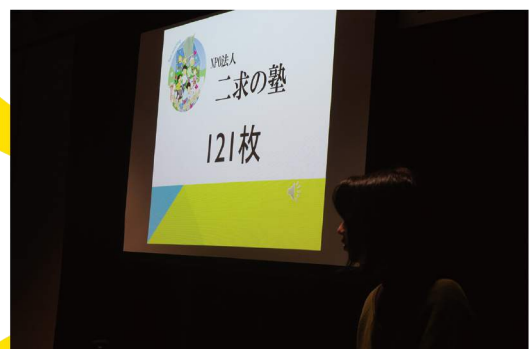
19:30  
交流会タイム後は、いよいよ各団体のボックスに入ります。



18:25  
交流タイムは、プレゼンした5団体が、各テーブルを回って支援者に活動紹介をし、一生懸命応援をお願いしました。



最後にみんなで記念撮影



19:40  
獲得したコインを各団体ごとに集計して結果発表！

# こっぺ人ウォーク



2019年1月13日(日)に、「こっぺ人(あい)ウォーク2019」を開催しました。このイベントは、1999年より毎年開催してきましたので、これで21回目を数えます。今回は、約150名の参加者の方々に朝早くからJR鷹取駅近くの大國公園に集まって頂きました。なかでも、全国各地から集まっている灘中学校の生徒さんたちが、20名程ご参加頂きました。大人になって社会で活躍されるようになった時この経験が何らかの形で活かされることを期待します。

この日は日差しにも恵まれ、寒さも例年に比べると和らいだ一日でした。3キロほどの道のりを3つのグループに分かれて出発しました。鉄人28号の立っている若松公園や、震災後の区画整理で、震災前の木造住宅の密集地から防災公園として整備された水笠通公園、震災から免れ昭和レトロな雰囲気を残す丸五市場、火災の被害が最も大きかった大正筋商店街などを通り、ゴール地点である「旧二葉

小学校」まで、ガイド役や地元の人たちのお話を聴きながら、2時間半程かけて歩きました。

ご参加いただいた方には、スタート受付時に募金を頂き、当日の経費を差し引き、当基金にご寄附いただきました。(左記会計報告を参照)

お預かりしましたこの寄附金は、2019年度の当基金助成事業の助成金として活用させていただきます。

ご参加いただいたみなさまとご協力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

■主催…こっぺあいウォーク2019

実行委員会

(NPO法人神戸まちづくり研究所、認定NPO法人まち・コミュニケーション、認定NPO法人しみん基金・こっぺ)

■協力…近畿労働金庫地域共生推進室

## ■会計報告

収入	当日募金	15万3千73円
	協力金	(百20人記名) 3万円
	収入合計	(近畿ろうきん) 18万3千73円

支出	印刷費	8千5百円
	(チラシ/当日配布資料印刷)	
	イベント保険料	7千5百円
	(兵庫県社会福祉協議会)	
	支出合計	1万6千円
収支差額		16万4千3百73円
	↓しみん基金・こっぺへ寄附	

## あいウィーク以外にも しみん基金・こっぺへの 応援のしかたはいろいろ!



古着チャリティ



古本キフ



**ボックサン**  
SINCE 1984  
株式会社  
フルハウス

寄付つき商品

ボックサン「有馬の塩クッキー」  
ウェスティンホテル淡路「ラストイン商品」  
フルハウス「耐震補強金具」



Tポイントキフ



寄付プログラム

「カイトリ」



「つなごう神戸」  
サイトのバナー  
広告(法人のみ)



ヤフオク出品  
「モノでキフ」

ご寄付等の方法の詳細はHPで!

[しみん基金](#)

[検索](#)



本看護協会出版会のサイトなどで販売中です。

この本の印税の一部は当基金へのご寄付となります。

多様な活動をされてきた黒田さんの持たれていたスピリット(魂)を、より深く知り、それぞれの現場の実践につなげたいと思われる多くの若い方々に読んでいただきたい一冊です。

今年度の黒田賞に選定した酒井明子さん編著書の「災害看護の本質 語り継ぐ黒田裕子の実践と思想」は日

# おすすめ BOOK



『「参加の力」が創る共生社会―市民の共感・主体性をどう醸成するか』  
 (早瀬昇著、ミネルヴァ書房 2018)

この著書は早瀬昇氏の大阪ボランティア協会での経験や、日本ボランティアコーディネーター協会での蓄積などをもとに40年以上にわたる活動の集大成として、「参加の力」が生み出す創造的な営みの大切さを体系的に実践的にまとめられた作品です。

早瀬氏は、また「ボランティア」という言葉が今のように一般化される前の1970年代に、両親の反対を押し切って、当時の大阪ボランティア協会に「就職」されました。障害者自立のための運動や阪神・淡路大震災後のボランティア活動を経て、今につながるNPO法への道を切り拓かれてこられました。

筆者は、早瀬氏とは最近日本ファンディング協会での活動で身近に接する機会が増え、この著書に關する関西での研究会も開催しました。

著書の中でも、研究会でのお話でも最も印象に残ったことは、「モチベーション3.0」として紹介されている内発的な「意欲」を高める3つの鍵の話です。その3つの鍵とは、  
 (1)「自律性」を高める、  
 (2)「熟達」できる状況を作り出す、  
 (3)大きな「目的」につながられる環境を作る、  
 です。この部分が、「参加の力」を導き出す大切な、でも難しい要素だと思えました。

「あとがき」で、フランスの哲学者アラランの「悲観主義は気分によるものである。」ということが紹介されています。どんなときでも、意志の力で前向きな未来を築いていこうとする姿勢に学ぶべきことが多い、お勧めの著書です。

## つなごう神戸のトップページにボランティアの声を新設しました

当基金が管理・運営しているボランティア応援サイト「つなごう神戸」のトップページをスライドショー形式に変更し、新設したボランティアの声のページにリンクしました。  
 第1弾として、NPO法人ふおーらいふさん、コウベまち

むすびさん、元町映画館さんにご協力いただき、ボランティアを体験した方の体験談を掲載しました。  
 今後も随時、たくさんのボランティアの声を掲載できれば、ボランティア未経験の方の初めの一步を後押しできるのではと思います。



24年目のひとり言  
〜元号〜

本年5月1日、今上天皇が退位され、皇太子が新天皇としてご即位される。それに伴い30年続いた「平成」元号は、新しい元号に変更される。新しい元号は4月1日に発表される予定だ。元号は、あくまで日本国内のみに通用するもので、海外では通用しない。海外旅行の際に必要なパスポートは当然のことながら西暦表示になっているし、運転免許証も今年3月から順次、西暦表示に変更(元号併記)されるとのことだ。現在、元号を使用している国は、世界各国の中で日本だけであり、日本を訪れる外国人にとって疑問に感じる人が多いと聞く。私たち日本人にとっても、時として煩わしく感じることも少なくはないのではないか。例えば昭和に起きた事柄を平成、新しい元号とまたいで年数を計算するのはとても面倒だったりする。日本だけにしかない元号、皆さんはどの様に考えられるのだろうか。

ともあれ、5月1日からは、新しい元号を頂いて日本は動き始めることになる。戦争や災害の無い世の中であって欲しいと強く願うばかりだ。

しみん基金・こうべ

専務理事

瀬戸口 仁三郎

会員数とご寄付のご報告

- ◆正会員 個人31名 団体3 団体
- ◆賛助会員 個人41名 団体14 団体
- (2019年1月末現在)

- ◆寄付・募金合計金額  
百8万5千5百89円

◆寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

- 中島秀男、飛田雄一、伴智代、津久井進、重松和枝、戎正晴、上松節子、崔舜記、勝部慶子、オルガワンゲリエワ、中村順子、白井一彦、植田雅人、久戸瀬昭彦、戎康宏、池田拓也、上野義治、鬼本英太郎、保元温、當間克雄、藤井英映、松本隆平、(有)ボック、(有)神輝興産、(株)ロック・フィールド、関西日英協会婦人部、(二財)大吉財団、(株)モイスティヌ美容研究所、(株)まんぼう、(株)神戸サンソ、大和リース(株)神戸支店、弁護士法人神戸シテイ法律事務所、ウィルスタイル(株)、オレンジスリフティ、(株)フルハウス、兵遊協福祉基金、ヤフー(株)、こうべあいウオーク2019実行委員会、愛蓮塚口店募金箱

(2018年12月〜2019年1月)  
※皆様方からのご厚志に感謝致します。

クレジット決済もご利用頂けますのでご利用ください。当基金ホームページトップページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

Tポイントでもご寄付いただけます。当基金ホームページにある「Tポイントでキフ」からお願います！

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円  
団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・フアックス・メールなどでお名前・ご住所・電話番号をお知らせください。ホームページからクレジット決済も可能です。

★振込口座  
三井住友銀行三宮支店

普通 7965892

みなと銀行本店営業部  
普通 1597921

近畿労働金庫神戸支店  
普通 4161854

郵便振替

0099015157334

口座名義すべて  
「しみん基金・こうべ」

平成が終わるまで1か月あまりとなりました。当基金が、平成11年に最初の助成をしてから、今年で20年になります。これまで百84団体に助成をしてきました。コミュニティファンドとして自転車操業ながらもなんとか20年継続できたのはみなさまのご支援のおかげです。平成の次もご支援お願いします。(と)